



2025年3月13日

各位

会社名 G - F A C T O R Y 株式会社
代表者名 代表取締役社長 片平 雅之
(コード： 3474 東証グロース)
問合せ先 専務取締役管理本部長 田口 由香子
(TEL. 03-5325-6868)

上場維持基準の適合に向けた計画に基づく進捗状況について

当社は、2021年12月23日に、グロース市場の上場維持基準への適合に向けた計画を提出し、その内容について開示しております。2024年12月時点における計画の進捗状況等について、下記のとおり作成しましたので、お知らせいたします。

記

1. 当社の上場維持基準への適合状況の推移及び計画期間

当社の2024年12月時点におけるグロース市場の上場維持基準への適合状況はその推移を含め、以下のとおりとなっており、流通株式比率については充たしておりません。当社は、下表のとおり、上場維持基準を充たすために、引き続き各種取組を進めてまいります。

		流通株式数	流通株式時価総額	流通株式比率
当社の適合 状況及びそ の推移	2021年6月末時点 (移行基準日)	16,003 単位	8.3 億円	23.7%
	2022年12月末時点	16,245 単位	7.3 億円	23.9%
	2023年12月末時点	14,587 単位	5.3 億円	21.5%
	2024年12月末時点	16,857 単位	12.2 億円	24.7%
上場維持基準		1,000 単位	5 億円	25.0%
当初の計画に記載した計画期間		—	—	2025年12月末

※当社の適合状況は、東証が基準日時点で把握している当社の株券等の分布状況等をもとに算出を行ったものです。

2. 上場維持基準の適合に向けた取組の実施状況及び評価（2024年1月～2024年12月）

当社は、上場維持基準の適合に向けて当初計画を軸に進捗しており、現時点で変更の必要はないものと判断しております。なお、計画書において開示した取組の基本方針及び取組内容に関する進捗状況及び評価は以下のとおりです。

当社は、流動株式比率が基準である25.0%を下回っております。

主な要因としましては、創業者であり代表取締役社長である片平雅之及びその他役員、並びに片平雅之が100%の株式を保有する会社（以下、役員等という）で持ち株比率70%超の株式を保有していることにあります。一方で、当社は将来の成長及び事業拡大に向けた積極的な投資を行う過程にあり、経営安定化のため、経営陣が一定の割合を保有する必要があると考えております。したがって、会社の成長及び事業拡大を推進するとともに、上場維持基準を充たすために段階的に流通株式比率の向上を図ってまいります。

具体的な施策につきましては、役員等が保有する株式の売却を前提としております。2024年12月期におきましては売却には至っていないものの、今後、計画期間の2025年12月末を最終期日として取り組んでまいります。そのために、役員等が株式を売却しやすい環境づくりが必要と認識しております。

この点、2024年12月期は、株主への日頃の感謝、株主及び投資家が当社事業への理解をより一層深めていただくこと、当社株式への投資魅力を高めることを目的として、2024年4月11日付「株主優待制度再開に関するお知らせ」、及び2024年8月14日付「株主優待制度の変更（拡充）に関するお知らせ」にありますように、株主優待制度の再開と拡充を行いました。

また、企業業績に関しまして、成長方針に基づく取組を推進したことで事業規模が拡大し、継続して売上高が増加しております。

結果として、株価が上昇し、流通株式時価総額も上記のとおり2023年12月末と比較して、およそ130%上昇しており、流通株式比率の改善に向けた環境づくりにつながっていると評価しております。

なお、役員等による具体的な株式の売却時期や手法等については、引き続き検討している段階であります。株価への影響を勘案した上で、開示すべき事項を決定した際には速やかにお知らせいたします。

以上